

ICAO (シカゴ) 条約第10附属書第85改正の概要

改正概要

- 1 着陸誘導装置 (ILS) の覆域の要求条件に関する標準及び勧告方式の修正
- 2 ACASに関する標準及び勧告方式の修正
- 3 MLATに関する新たな規定の導入
- 4 その他システムの改正

※:略語

ILS(Instrument Landing System):計器着陸装置

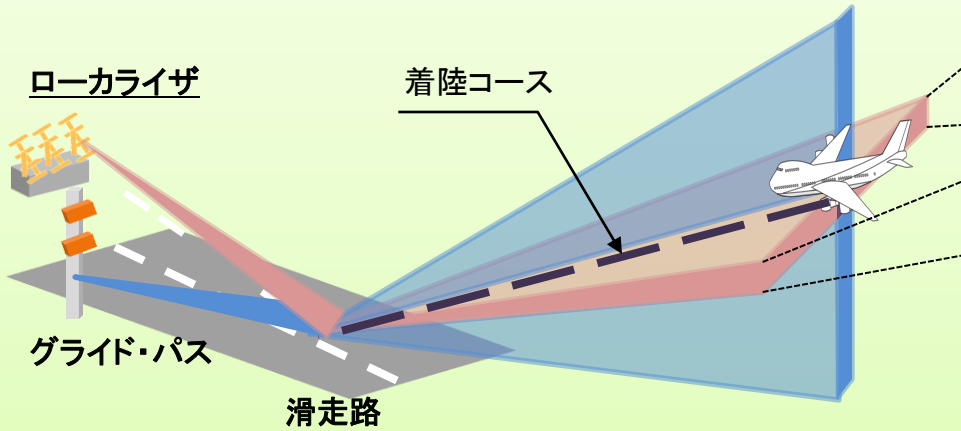
ACAS(Airborne Collision Avoidance System) : 航空機衝突防止装置

MLAT(Multilateration):複数地点受信方式航空監視システム

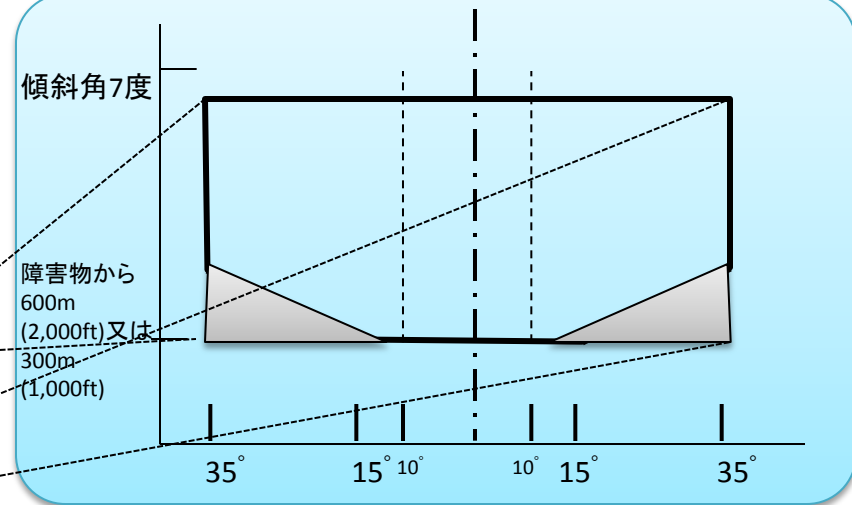
着陸誘導システム(ILS)のローライザー覆域の変更(第85改正1)

ILSの運用上の要件が許す場合、性能を保護するために、覆域の要件を緩和することが可能とする。

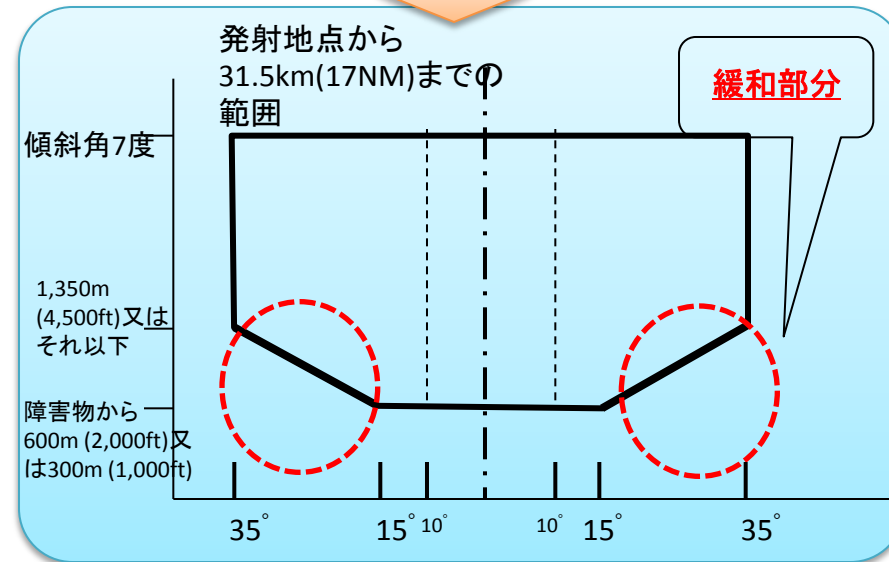
着陸誘導システム(ILS)の概念図



ローライザー: 着陸を行う航空機に対し、電波により着陸コースからの水平方向のずれを示すことにより、水平方向を誘導
グライド・パス: 着陸を行う航空機に対し、電波により着陸コースからの垂直方向のずれを示すことにより、垂直方向を誘導



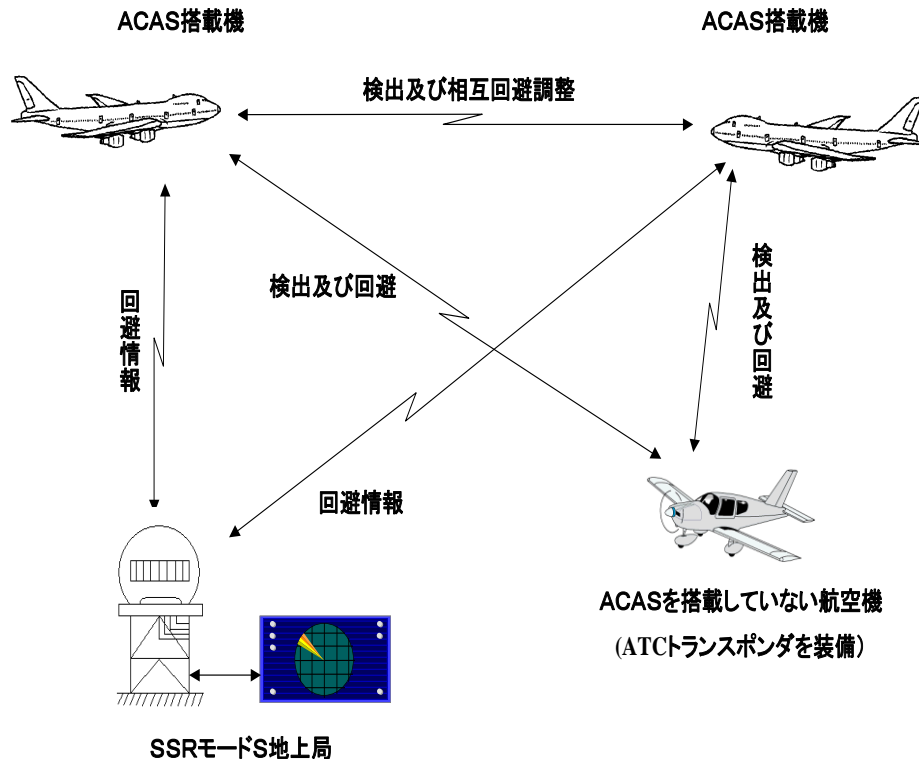
改正後のローライザーの垂直面の電波発射範囲



航空機衝突防止装置(ACAS)の機能更新(第85改正2)

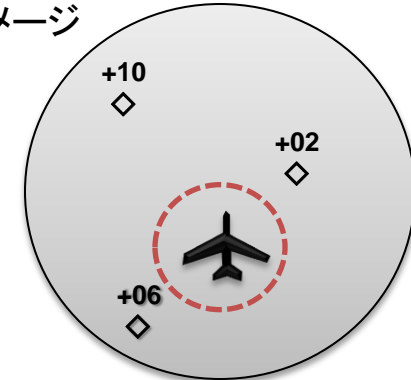
ACASの機能を向上することで、航空機の一層の安全航行に寄与する。

ACASの概念図

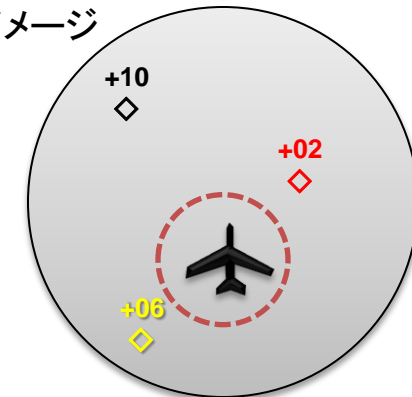


ACASは、自機の質問電波に対する周辺の航空機の応答電波により、他の航空機の位置、高度等の情報を得ることで、衝突を回避するための情報を自動的に表示し、警報を発する装置

改正前の表示イメージ



改正後の表示イメージ



1 表示の視覚の統一

警戒は「黄」、回避は「赤」

2 高度化のために応答信号を追加

応答信号番号17の追加

3 監視データ取得間隔の変更

1分又は10秒間隔で取得